

ちばだい  
プレス

千葉大学広報誌

特集

平成28年春、  
千葉大学は  
こう変わる！

特集

千葉大学の  
グローバル人材育成

33

vol.

2015 SEPTEMBER

「国際教養学部」新設の背景  
時代の要請にこたえて41年ぶりに  
新学部創設

全学でグローバル化を推進する千葉大学では、平成24年に国際化方針「グローバルキャンパス・千葉大学」を策定し、グローバル人材を育成する制度やカリキュラムを充実させてきました。平成26年度には文部科学省の「スーパーグローバル大学創成支援」のタイプB(グローバル化牽引型)に採択され、その中で新しい学びの形として構想されたのが国際教養学部です。

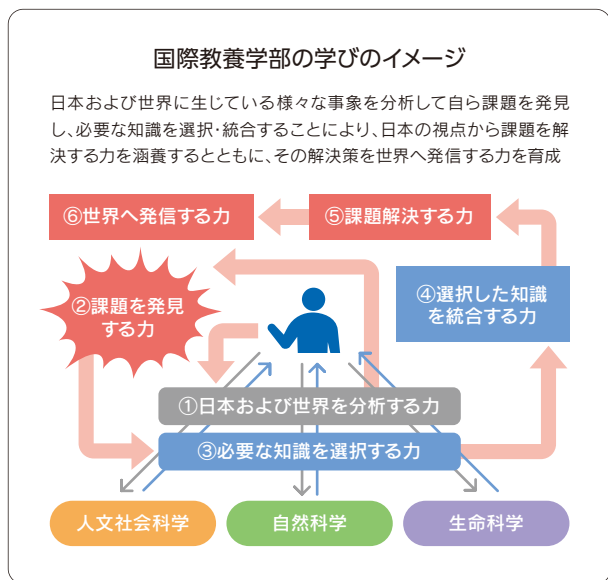
近年、国際教養学部の新設は全国的な傾向ですが、国立大学としては千葉大学が初めて。実に41年ぶりの新学部創設で、時代の要請にこたえるものと言えます。また、同学部をグローバル化推進のパイロット学部と位置づけ、アクティブ・ラーニングを実践することにも、新しい試みで成果が上がったものは、全学展開も検討したいと考えています。

「国際教養学部」の特徴Ⅰ  
総合大学としての強みを活かした  
学びを創出

国際教養学部の特徴を大きく3つ挙げると、①文理混合、②課題解決型、③学びの新しい形態、となります。

従来、国際教養教育は文系が主流でしたが、国際的な課題解決には科学的な視点が必要とされています。そこで、千葉大学の国際教養学部では、文理混合の教育を目指しています。これは、総合大学として、人文社会科学、自然科学、生命科学をカバーする学部として、ここで培われた教育資源を持つ千葉大学だからこその強みと言えます。

課題解決型というのは、最初から決められた学問分野を出発点とするのではなく、課題認識からスタートし、その解決のための知識を選択し、解決能力を育む教育です。従来の履修体系からの発想の転換と云ってもいいでしょう。



「国際教養学部」の特徴Ⅱ  
パイロット学部ならではの  
新しい取り組み

続いて、学びの新形態については、新学部ならではの試みがいくつかあります。

まず、この学部では、ナンバリングという考え方を重視します。ナンバリングとは、難易度によって科目に特定の番号を振り、学生が各自の能力や進捗に合わせて、自分で履修科目を決めていくというものであり、学びの自由度を高める効果もあります。

次に、SULIAの新設があります。SULIAとは、Super University Learning Administratorの略で、課題検討や留学時期など、学生が困ったときに相談に乗り、適切なアドバイスをする教育支援専門職員のことです。10年後には全学で120名を目指しています。



※コース・ナンバリング・システム(平成27年度導入)によるナンバリングコード

特集 平成28年春、千葉大学はこう変わる!

グローバル人材を育成する  
「国際教養学部」が誕生



平成28年春に、千葉大学10番目の学部として新設される国際教養学部。グローバル人材のニーズが高まる中、社会で幅広く活躍できる国際人の育成を目的とする同学部の概要やカリキュラム、卒業後の進路などについて、教育改革担当副学長の小澤弘明先生にお話をうかがいました。

「国際教養学部」のカリキュラム  
9科目群で身につける課題解決能力

カリキュラムの構成については、図のように9科目群となっております。図の中のグローバルスタディーズメジャー、現代日本学メジャー、総合科学メジャーの3つが具体的な学習の中心となります。いずれか1つを選ぶことになりませんが、各メジャーの科目を履修することができます。それにより知識を深めていくことができます。また、フィールド科目とワールド科目は、現場での実践を行う科目と位置づけられています。

- 普遍教育科目——さまざまな学問領域に触れ、研究を行う基礎や学問の基盤を形成する。
- 俯瞰科目——国際教養学の入門として分野や領域にとらわれず全体を見る目を養う。
- スキル形成科目——語学や研究方法など、国際教養を学ぶ上で必要となる技能を修得する。
- フィールド科目——学外での活動やフィールドワークなどを中心に、実際に現場に出て実践を行う。
- ワールド科目——各自の志向に応じたテーマメイトの留学を中心に世界を体感する。
- グローバルスタディーズメジャー——グローバルな問題の背景と構造を理解し、その解決に必要な知識を修得します。
- 現代日本学メジャー——日本の技術、文化、社会の課題を理解し、それをもとにグローバルな課題の分析につなげる知識を修得します。
- 総合科学メジャー——諸科学の基礎を理解し、その中から解決すべき課題への新たなアプローチ方法の発見を目指します。
- メジャープロジェクト——従来の卒業研究や卒業論文の枠を超え、グループ研究で問題解決の実践を行う。

「国際教養学部」、卒業後の進路  
さまざまな場所で活躍できる  
人材づくり

国際教養学部の目的はグローバル人材の育成にありますが、卒業後の進路は海外だけを念頭に置いているわけではありません。地域の中にもグローバルな課題はありますし、この学部で身につく、課題を発見し解決していく能力は、どんな場所でも活かすことができるでしょう。

具体的には、企業や自治体の国際部門、企画部門などが考えられます。また、工学デザインの演習も行うので、デザイン・シンキングを身につけ、IT系のデザイナー、エンターテインメントやアートのプロデューサーとしての活躍も期待できます。

新設学部なので大学院はありませんが、学部で見つけたテーマに沿った大学院に進んで専門性を深めれば、国際公務員やNGOの職員への道も開けるでしょう。

入学を希望する皆さんへ  
ますます高まるグローバル人材の重要性

国際教養学部は、従来の文系・理系という分け方をしていないので、受験科目の構成も自由度が高まりました。自分に合った受験科目を選べるのは、これから大学受験を迎える高校生にとって大きなメリットになります。グローバル人材を育成する学部なので、特に英語を重視しており、外部検定試験でのスコアに応じた加点もあります。また、90名の募集のうち10名は特色入試として、小論文と英語の面接のみでの選考を予定しています。

複雑化するグローバルな課題を解決できる人材は、今後ますます求められており、国際教養学部が果たすべき役割は大きいと言えます。社会と関わりながら、世界に目を向けられる学生の入学をお待ちしています。

## 教育学研究科に、専門職学位課程(教職大学院) 高度教職実践専攻を新設

教育学研究科は、平成28年度に専門職学位課程(教職大学院)高度教職実践専攻を新設し、修士課程学校教育学専攻と2専攻になります。

### 1. 専門職学位課程(教職大学院)の特徴

—教育現場の現代的課題に対応できる高度専門職業人を養成

教職大学院は、教育の現代的課題に取り組む2つの分野を設け

#### 2つの専攻の概要

教育学研究科	
<b>専門職学位課程(教職大学院)</b> (高度教職実践専攻) 定員20名	<b>修士課程(学校教育学専攻)</b> 定員59名
<b>スクールマネジメント分野</b> 学校経営を担う スクールリーダーを養成	<b>教育発達支援系</b> 学校心理、特別支援、幼児教育、学校保健
<b>学校教育臨床分野</b> 学校の臨床的課題を担当する 専門家を養成	<b>横断型授業づくり系</b> 地域連携、現代的課題
学校・地域の課題へ取り組む実践研究	<b>言語・社会系</b> 文化、社会、言語
グローバル対応 リーダープログラムへの取り組み	<b>理数・技術系</b> 自然、テクノロジー
	<b>芸術・体育系</b> 表現、感性、創造

ます。まず1つは、スクールマネジメント分野です。この分野では、学級経営・学校経営に関して学内外でリーダー的な役割を果たせる教員、教育行政および学校のミドルリーダーとして活躍できる教員、さらに、チームとして学校の諸課題に取り組める教員を養成します。もう一つは学校教育臨床分野です。この分野では、生徒指導・教育相談・進路指導上の諸課題を総合的に理解し、適切な指導ができ、学校現場で中心的に活躍できる教員、さらに、様々な問題行動や不適応行動やその対処方法を理解し、問題解決に当たることができる教員を養成します。入学者は現職教員、教育行政に携わる人、教員免許状を持つ学部卒業生を対象としています。

### 2. 修士課程(学校教育学専攻)の特徴

—専門領域の教育・研究に関して高度な実践的能力を持った人材を養成

修士課程は、専門領域の教育・研究を深めるための5つの系を設けます。教育発達支援系、横断型授業づくり系、言語・社会系、理数・技術系、芸術・体育系です。学校心理、特別支援、幼児教育、養護についての実践的な能力のある人材、先進的な教育実践を開発できる人材、教科などの実践的な指導方法を探究できる人材、さらに、教科等の専門の内容を深く探究できる人材を養成します。入学者は現職教員、学部卒業生、留学生など多様な人々を対象としています。

## 文学部が4学科から1学科体制に改編 新たに設けられる「人文学科」4コースに移行

平成28年4月、文学部は従来の4学科体制(行動科学科、史学科、日本文化学科、国際言語文化学科)を改編し、1学科(人文学科)4コース(行動科学コース、歴史学コース、日本・ユーラシア文化コース、国際言語文化コース)に移行します。

1学科改組の大きな目的は、人文学科のいかなる分野を学ぶ場合にも基礎として修得すべき教養的な共通基礎科目を学部の総力を挙げて強化するためです。とりわけ、国際性を涵養し、地域社会や自身のキャリアを展望するための科目群、あるいは、人文学科の専門性を現実の社会に架橋していくための基礎的訓練としてのフィールドワーク、インターンシップなどの実践的、応用的科目群の充実を図ります。これらの新しい共通基礎科目によって、激動する世界にたじろぐことなく向かい合うことのできる知的基盤を獲得することを期しています。

一方、1学科改組後も、これまでと同様、学生はあらかじめ学びたい「コース」を選択して受験し、入学した後は必ず自身が選択した「コース」で勉学を続けることが保証されます。これまで設置されていた4学科は、従来の学問体系の中で蓄積されてきた方法論に基づく大きな区分です。したがって、改組後においても、従来の4学科の学問体系を継承する4コースを設けて、専門性を深め

ていくことのできる教育課程を用意しています。ただし、「コース」には厳密な定員を設けませんので、希望すれば在学中において、入学時に選択したコースから別のコースへと移動することも一定の範囲で可能になります。

新しい文学部の教育体制は、現代社会において求められる幅広い教養と、人文学科の伝統に根ざした深い専門性を両立させ、受験時に選択したコースで確実に学ぶことができる安心と、入学後にコースを再選択できる挑戦とを両立させることができる柔軟な構造です。千葉大学文学部では、学生による知的好奇心の徹底的な追求を支援したいと願っています。



フィールドワーク、インターンシップのイメージ(左:上海城隍廟、右:モスクワ大学の学生と交流)

# 新たな取り組みが始まる

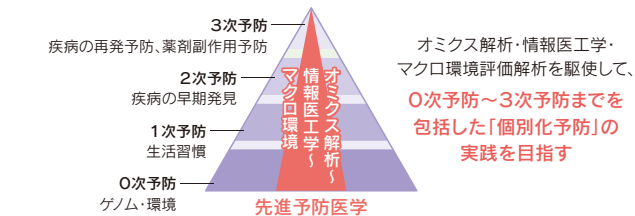
千葉大学では、「つねに、より高きものをめざして」の理念のもと、時代に応じたさまざまな“学び”のあり方を検討、実践し、学生の皆さんに提供してきました。そして、平成28年春には、前ページで紹介した国際教養学部の新設だけでなく、さらに3つの新たな取り組みがスタートします。

## 千葉大学・金沢大学・長崎大学による 先進予防医学共同専攻(共同大学院)を設置

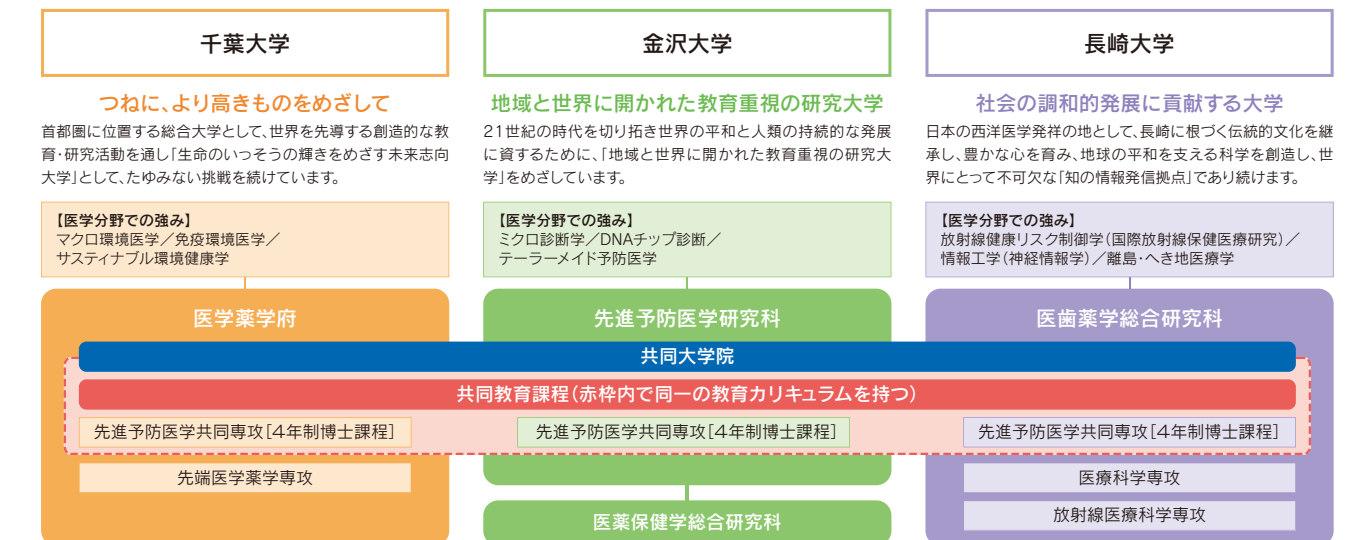
平成28年4月1日に千葉大学・金沢大学・長崎大学の国立3大学による「先進予防医学共同専攻(共同大学院)」を設置することとなりました。この共同大学院は、各大学の役割と責任はまったく同等という大原則により設置され、3大学の強みを結集して、0次予防から3次予防までを包括した「個別化予防」を実現する「先進予防医学」を掲げ、それを実践できる専門家を共同で養成します。また、インターネットおよび多様なメディアを駆使した授業、柔軟なカリキュラム編成、きめ細かな履修指導により働きながらの履修も十分に可能な体制を整えることとしています。

千葉大学では、大学院医学薬学府に新たな専攻「先進予防医学共同専攻(4年制博士課程):入学定員10名」として設置、授与する学位は、「博士(医学)」となります。

#### ● 先進予防医学が目指す、病気予防のイメージ



#### ● 先進予防医学共同専攻(共同大学院)における3大学の連携



#### 【目指すもの】

「先進的な予防医学を目指して」—少子・超高齢社会の到来、生活環境の変化、経済的格差の拡大などを背景とした医療・保健に関する諸課題を解決し、活力ある社会の発展・成長に向け、予防医学の新たな教育研究拠点の形成と人材育成に取り組みます。

#### 【共同大学院の特色】

本共同大学院は、千葉大学、金沢大学、長崎大学の国立3大学が持つ強み、マクロ環境評価・解析(千葉大学)、オミクス解析(金沢大学)、情報医学(長崎大学)を組み合わせたカリキュラムを編成します。併せて3大学が有する国内・海外拠点のフィールド活用や、地理的に離れた地域のデータの集積・標準化などを行うことにより、本共同大学院の設置趣旨に合う教育研究・人材育成の基盤が担保できると考えています。

#### 【0次予防の概念を加えた兆し前からのアプローチ】

従来の予防医学で実施していた1次から3次までの予防段階に加え、発病前の段階から罹患を予測し未然に予防する「0次予防」の概念を加えた、新たな方法論を確立します。0次予防から3次予防を相互に関連付け、統合的に扱うことで、免疫疾患、生活習慣病、精神・神経疾患、希少疾患などの発病の可能性を低減させることを目指します。

千葉大学は

**4つの改革**  
+  
**3つの力**  
+  
**4つの独自目標**

でグローバルを  
目指します！

10年後の未来に皆さんはどうなっているでしょう？  
千葉大学は、世界トップクラスのグローバルキャンパスを実現します！  
千葉大学で日本を代表するグローバル人材を目指しませんか？

## 千葉大学を新生する4つの改革



### ガバナンス改革による新生

▶国際教養学部設置【現在の教養教育を改革しグローバルな教養教育を国際日本学を中心に推進】▶共学教育の拠点設置【チームで課題を解決するプロジェクト型融合教育+英語での日本人・留学生の共学を実現】▶全学教育運営支援組織の構築【教員と職員の間接的な存在となる新たな人材SULA(Super University Learning Administrator)を育成し、学生一人一人に対応したきめ細やかなサポートを実現】▶教職員の資質能力をグローバル化【海外でのFD・SD研修を積極的に推進し、教職員改革でグローバル化】



### 学修制度改革による新生

▶飛び入学の拡大【より多くの学部で飛び入学者を受け入れる】▶多様な入試の実施【国際バカロレア入試に対応】▶学事暦の見直し【クォーター制の導入：サマースクールなどに参加しやすくする】▶学内教育制度の国際標準化【コース・ナンパリング・システム：担当学部・難易度・履修すべき順番などが一目でわかる+シラバスの英語化：海外から留学したい学生にもわかりやすいシラバス+デジタルポートフォリオの導入：学生一人一人の学修をきめ細かく手助けする】



### プログラム改革による新生

▶ダブルメジャー制度によるイノベーション人材育成【TOKUHISA SCHOOL】▶留学のための飛び入学【国際教養学プログラム】設置【国際教養学部で実施】▶国際日本学の必修化【6単位必修】▶セメスター派遣・受入プログラム▶大学院ダブルメジャー・メジャーマイナー・プログラム



### グローバル・ネットワーク改革による新生

▶海外キャンパスの設置(予定)【バンコクに設置】▶アライアンス交流の推進【アセアン大学ネットワーク(AUN)やイギリスのラッセルグループなど世界の多様なアライアンス(連合)との連携】

## 人間力育成のための3つの力

「俯瞰力」

+

「発見力」

+

「実践力」

千葉大学では、人間力を身につけるために、3つの力を育成します。俯瞰力育成は、国際日本学を中心とした全く新しい教養教育で実現します。発見力は、進化したアクティブラーニングによるイノベーション教育で実現します。そして、発見した課題を積極的に解決できるような実践力のある「プロフェッショナル人材」の育成を目指します。

## 千葉大学を新生する4つの独自目標

700科目

700科目に及ぶ英語による授業を国際教養学部で実施します。そのために、外国人教員の比率を上げたり、留学生との共同学習プログラムを拡大させます。シラバスも日英の二言語化を目指します。

50%

入学定員の50%に相当する1,200人の学生を海外に送り出す計画です。そのために、海外キャンパスの設置や短期プログラムの充実を図り、海外の卒業生と連携を取りながら拡大させていきます。

3000人

3,000人の留学生を受け入れます。日本の文化体験プログラムから様々な専門の短期集中プログラムを充実させ、サマープログラムも並行して開講します。多様で多彩なプログラムを展開します。

10%

「飛び入学」と言えば千葉大学ですが、新たに留学専用の飛び入学を実施します。それ以外にも国際バカロレア入試や海外での入試を実施し、多様な入試で入学定員の10%=240人を選抜します。

**753+1**計画  
(シチゴサントス イチ)



千葉大学のグローバル人材育成

トビタテ！留学JAPAN 日本代表プログラムに参加して



法経学部総合政策学科4年  
(留学時は3年)  
吉谷 真子さん

留学コース 多様性人材コース  
留学先 インドネシア

昨年、文部科学省が中心となりスタートさせた「官民協働海外留学支援制度」トビタテ！留学JAPAN 日本代表プログラム(以下、トビタテ!)。千葉大学からは12人が選出され、各メンバーが充実した留学生生活を体験しました。今回はその1人である吉谷真子さんに留学の感想や得たものについて聞きました。

### インドネシア大学での学びと、ボランティア体験

私は、アジアの社会保障や教育について学ぶため、平成26年8月から27年1月までインドネシア大学に留学しました。トビタテ!では、綿密なプランと「これをやる」という熱意が選考基準になるため、社会保障についての本を読んだり、自分の考えを友人に話して足りないところを指摘してもらったりしながら計画を練りました。

インドネシア大学では、開発経済学について学びました。授業で特に印象に残っているのは、日本が第二次世界大戦中にインドネシアを統治していた時代のことについてブレゼンテーションを行ったことです。授業後、インドネシア人の友人に日本がどう思われているかを聞いたところ、過去は過去として忘れてはいけない一方で、独立後にインフラ整備などの面で援助を行っており、総じて日本のイメージは悪くないと言ってもらえたのが印象的でした。

留学期間終了後にはスマランのインターナショナルウィークキャンプで、10日間のボランティアも体験しました。内容は、性労働に従事する母親を持つ子どもとの遊びを通してマナーを教えるというものです。社会保障と教育の両方に関わることなので、とてもいい経験になりました。

### マクロの視点からではなく、個別の課題から社会を改善したい

トビタテ!1期生として同時期に留学した仲間たちとは今も交流があります。私はアジアの社会保障を学ぶためにインドネシアに行きましたが、福祉が充実している北欧

### “留学を考えている方へのメッセージ”

海外生活を体験しておくのは、自分がやりたいことを見つめ直すいい機会になります。留学に不安のある人こそ、思い切って飛び立ってみてください。



◀ ジョグジャカルタの若者のアートの前で



◀ 世界遺産ボロブドゥールでインドネシア人にインタビューを受けて



▲ 地方の小学校で文化交流



千葉大学でプロダクトデザインを学び、トヨタ自動車にてカーデザイナーを務め、デザインの第一線を退いたのち、千葉大学の製品デザイン研究室に着任した林孝一教授。後進の育成の重要性和学生の可能性を実感しているという林先生にお話を伺いました。



▲ 学生が作成したポートフォリオ。「最初はデザインスケッチも描けなかった学生が、わずか数年で立派なポートフォリオを作り上げることに驚きを感じています」と林先生



▲ 研究室のメンバーは、修士課程2年が5名、修士課程1年が8名、学部4年が5名の計18名。うち3名が中国と台湾からの留学生。それぞれが積極的にデザインコンペに参加している

### 研究室所属の大木佑太さん(修士課程1年)が ヤナセのデザインコンテストで、最優秀賞を受賞



▲ 2015年4月に開催されたヤナセ100周年記念デザインコンテスト「こんなメルセデスに乗りたい!」で、研究室所属の大木佑太さんが最優秀賞を獲得。バンパー周りのデザインにこだわったという「GLACCLASS+100km」は実車化され、ヤナセのショールームやイベントなどで展示されたのち、大木さんにプレゼントされるとのこと。上の写真は、8月27日に行われた完成披露会

## カーデザイナーから教職へと 転じ、後進の育成に尽力



林孝一(はやし こういち)  
千葉大学大学院工学研究科教授、  
千葉大学工学部卒、同大学院工学  
研究科で工業意匠専攻修了。トヨタ  
自動車に就職し約30年にわた  
りデザイナーを務める。2010年  
から千葉大学客員教授を兼任。  
2014年、トヨタ自動車を退職し、  
千葉大学の教授となる。

私がデザイナーとして仕事をしていて感じたのは、自分のアウトプットに満足してしまったり、それ以上の成長がないということ。スポーツ選手や演奏家が練習を怠るとすぐに腕が落ちてしまうのと同様、常に向上するというメンタリティを持つことが必要なのではないかと私は考えています。教員になって改めて思うのは、千葉大生のポテンシャルの高さです。どの学生もこれから伸びしろは十分にありますので、自分の可能性を信じていろいろなことに挑戦してほしいですね。

——最後に学生へのメッセージをお願いします。

私がデザイナーとして仕事をしていた頃は、自分のアウトプットに満足してしまったり、それ以上の成長がないということ。スポーツ選手や演奏家が練習を怠るとすぐに腕が落ちてしまうのと同様、常に向上するというメンタリティを持つことが必要なのではないかと私は考えています。教員になって改めて思うのは、千葉大生のポテンシャルの高さです。どの学生もこれから伸びしろは十分にありますので、自分の可能性を信じていろいろなことに挑戦してほしいですね。

——最後に学生へのメッセージをお願いします。

千葉大学からトヨタ自動車に客員教授として人材が欲しいという話があり、私に白羽の矢が立ったのがきっかけです。私は教員という柄ではないので、最初はお断りしていたのですが、思い直して2010年に客員教授となり、昨年からは正式に教授職に就きました。考えを変えたのは、私自身がすでに管理職となり、デザインの最前線から離れたいため、学生を育成して社会に送り出す仕事に新しい意義を見出したからです。

実は、私が学生時代にトヨタ自動車に入社する直接のきっかけをつくってくれたのは、当時、工業意匠学科の教授であった森本真佐男先生という方なのですが、この方もトヨタ自動車のデザイン部長から教員に転身された方でした。そういう意味では縁を感じますし、私も若いデザイナーの背中を押す役割を果たしたいと感じています。

——最後に学生へのメッセージをお願いします。

トヨタ自動車から教員として大学に移られた経緯についてお聞かせください。

カーデザイナーの魅力に初めて触れたのは、中学生の頃に、イタリアの117クーペという車を見たことですね。イタリアのジョルジュ・ジュリアーロによるデザインで、今でもファンの多い車ですが、私にとってプロダクトデザイナーというものを意識するきっかけの一つになりました。

その後、大学受験で進路を考えていたときに、千葉大学工学部に工業意匠学科があることを知り、興味を持ちました。入学時から明確にカーデザイナーを目指していたわけではないのですが、就職を検討する時期になり、改めて自分がやりたいことを考えたとき、車のデザインなら続けられると思い、トヨタ自動車への就職を決めました。

——トヨタ自動車から教員として大学に移られた経緯についてお聞かせください。

カーデザイナーの魅力に初めて触れたのは、中学生の頃に、イタリアの117クーペという車を見たことですね。イタリアのジョルジュ・ジュリアーロによるデザインで、今でもファンの多い車ですが、私にとってプロダクトデザイナーというものを意識するきっかけの一つになりました。

▶ 答えはページ下の「もっと知りたい千葉大学」へ

VISION  
CHIBA  
UNIVERSITY  
2015-2021

世界に輝く未来志向型の総合大学へ！

平成16年度の国立大学法人化以降、千葉大学では「つねに、より高きものをめざして」を基本理念に掲げ、教養(普遍)教育の充実と教育活動の国際化を積極的に進めるとともに、学問の多様性を尊重しつつ、世界レベルの基礎研究や応用研究を強力に推進するなど、世界を先導する創造的な教育・研究活動の実践を通して、世界に輝く未来志向型の総合大学を目指し、たゆみない挑戦を続けてまいりました。

平成28年度からの第3期中期目標期間を迎えるに当たっては、国内外の急激な社会変化により人類が直面する様々な課題を的確に捉えるとともに、これまでの取り組みから得られた本学の強みや特色、可能性を十分に見極め、本学が有する卓越した研究力と質の高い教育力を、それら課題の解決に向けて効果的に発揮することにより、本学が「世界最高水準の教育研究機能を有する総合大学」としてさらなる発展を遂げていくため、この期間における本学のビジョンを策定いたしました。

千葉大学においては、強みとなる独自の研究分野への戦略的支援や、次世代型イノベーションの創出、自立した個人として、自主的に学び、グローバル社会の中心となって活躍できる次世代型人材の育成などにより、全学の教職員が一丸となって本ビジョンの実現に向けて取り組んでまいります。

国立大学法人千葉大学 学長

徳久剛史

Global

国際社会で活躍できる次世代型人材の育成

- 国際未来教育基幹の創設による世界水準の教育実践と次世代型人材育成
- 「グローバル千葉大学の新生」(スーパーグローバル大学等事業)の着実な実施
- 国際的なネットワークの構築による教育研究拠点の創成

Research

研究三峰(トリプルピークチャレンジ)の推進

- グローバルプロミnent研究基幹の創設による独自の次世代研究への戦略的支援
- 亥鼻キャンパス高機能化構想による治療学創成に向けた未来医療研究拠点形成
- 文理の枠を超えた融合型研究の推進

Innovation

次世代を担うイノベーションの創出

- イノベーションの創出に向けた産業連携研究の推進・強化
- 研究成果の社会実装へ向けた知的財産の確保と活用
- イノベーション創出人材の育成と組織改革

Branding

千葉大学ブランディングの強化

- 卓越した教育・研究力による国際的な信頼の向上
- 戦略的広報活動の推進
- 卒業生・企業・社会等との連携強化

Synergy

教職員による協働体制の強化

- 戦略的な大学運営に向けたガバナンス機能の強化
- 多様な人材(ダイバーシティ)の活用による教育研究活動の活性化
- リスクマネジメントシステムの充実

ジェフユナイテッド スポーツ マネジメント公開講座を開催

EVENT



島田氏の講義を熱心に聴く受講生

本講座では、学生と地域の方々に向けて、「競技を支えるビジネス」について授業を展開し、スポーツマネジメントの観点から、学生が自分の専攻分野とスポーツの関わりについて新たな視点を見つけるきっかけとなることを目指しています。

7月21日、普通教育科目「スポーツマネジメント」において、千葉大学と包括協定を締結しているジェフユナイテッド市原・千葉の代表取締役である島田亮氏を招き、「Jリーグのクラブ経営」と題した講義を行いました。

櫻井建成准教授がひらめき☆ときめきサイエンス推進賞を受賞

AWARD



左から石田学術国際部長、櫻井准教授(理学研究科)、徳久学長、松元理事、

日本学術振興会では、ひらめき☆ときめきサイエンスにおいて継続的にプログラムを実施し、子どもたちの科学する心を育み、知的好奇心の向上に大きく貢献した研究者を讃えるとともに、科学研究費助成事業による研究成果の積極的な社会・国民への発信を奨励することを目的として表彰を行っています。櫻井准教授が表彰されました。表彰式は7月27日に行われ、徳久学長より表彰状と記念品が手渡されました。

て表彰を行っており、本学から櫻井建成准教授が表彰されました。表彰式は7月27日に行われ、徳久学長より表彰状と記念品が手渡されました。

ひまわり“が”タネプロジェクト

EVENT



千葉大学附属図書館に設置された、ひまわり8号の圧縮的な映像力により映し出される地球の様子

まわり8号の圧倒的な映像力を4Kディスプレイ6枚によるマルチディスプレイで展示すると同時に、ひまわり関係者による講演が行われました。

千葉大学環境リモートセンシング研究センター(CRES)は、研究向けデータ提供機関として、気象庁より既にひまわりデータ提供を受けています。7月7日、ひまわり8号の正式運用がなされることを記念し、附属図書館にてイベントが開催されました。

関東甲信越大学体育大会で4競技入賞

INFORMATION



男子優勝、女子準優勝を果たした千葉大学体育会水泳部

成績 競技種目

優勝	ラグビー、水泳(男子)
準優勝	テニス(男子)、水泳(女子)、バドミントン(男子)
第3位	バドミントン(女子)

8月16日から8月31日にかけて、第64回関東甲信越大学大会が開催され、関東甲信越地区の大学から約3000名が参加しました。千葉大学では4つの競技で入賞しました。

次世代の種～SEEDSのためのテクノロジーとイノベーションを育てる

千葉大学SEEDS基金

ご支援・ご協力をお願い  
チャレンジを支え、人を育てる基金です。

千葉大学SEEDS基金の主な用途は、学生生活環境の整備、教育研究環境の整備、学生への奨学金の支援、国際交流事業の推進などです。

学生、若手研究者がより良いキャンパスライフを送れるよう、ご支援・ご協力をお願いいたします。



学生の希望により購入された書籍

ホームページから寄付の申し込みの手続きができます。

詳しくは <http://kikin-chiba-u.jp/>

戦時中、長野県に疎開した医学部

もっと  
知りたい  
千葉大学



戦局が厳しくなり、外壁に迷彩(カムフラージュ)がほどこされた旧千葉医大附属病院(現在の医学部)

1945年7月、激しい空襲を受けた千葉市内では、千葉医科大学も、附属病院(現医学部本館)を除き、焼失してしまいました。こうした状況下で、6月に医大附属医学専門部を、8月には学部も長野県下伊那郡へ疎開させることが決定します。しかしこの「千葉医科大学天竜分室」開講式挙行の5日後に戦争が終わりました。医療資料の一部は同地に寄付され、それを活かした「長野県立阿南病院」が1948年に誕生し、現在も地域医療に貢献しています。(国際教育センター 見城 悟)

留学生等に向けた被爆体験講話会を開催

EVENT



留学生等を前に被爆体験を語る山脇佳朗氏

山脇氏は11歳の頃自宅が被爆した当時の話を生々しく語り、「長崎を地球上で最後の被爆地とするために力を貸してほしい」と訴えました。また、講話後の質疑応答では留学生等から多くの質問や意見が寄せられました。

7月17日、被爆体験者が戦争の悲惨さを国内の留学生等に伝える講話会が開かれました。講話を行った長崎市の山脇佳朗氏は自身の被爆体験を英語で語り、留学生と日本人学生を合わせた約80人が熱心に聴き入りました。

舌下免疫療法 8割が花粉症症状改善

INNOVATION



スギ花粉エキスを舌の裏に滴下。2分間そのままにし、その後飲み込む

千葉大病院では、平成26年10月より新たに保険適用となった舌下免疫療法を実施しています。この治療法は、最低2年間毎日1回スギ花粉エキスを舌の裏に投与し、医師と相談しながら体質改善を目指すものです。注射の痛みもなく、自宅で行えるので通院の負担も少ないため、新たな治療法として注目を集めています。

平成26年10月～平成27年1月に治療を始めた患者さんを対象にアンケートを実施したところ、約8割の方に症状改善がみられました。



## I N D E X



- 02 特集 平成28年春、千葉大学はこう変わる!  
41年振りに新設される「国際教養学部」の概要と、  
3つの新たな取り組みを紹介
- 06 特集 千葉大学のグローバル人材育成  
・グローバル人材を育成する「4つの改革+3つの力+  
4つの独自目標」とは?  
・「トビタテ! 留学JAPAN 日本代表プログラム」参加者  
の声
- 08 研究室訪問  
車や公共交通、自転車、車いすなどトランスポーテーション  
デザインを研究  
—千葉大学大学院工学研究科デザイン科学専攻製品  
デザイン研究室—
- 10 TOPICS/もっと知りたい千葉大学

〔表紙〕夏休みに入り、人も少なくなったアカデミック・リンク・センター前「かたらいの森」